DIALOG(R)File 347:JAPIO (c) 2003 JPO & JAPIO. All rts. reserv.

#### PICTURE READER

PUB. NO.: 01-058165 [ JP 1058165 A] PUBLISHED: March 06, 1989 (19890306)

INVENTOR(s): KOGA YOSHIRO

APPLICANT(s): SEIKO EPSON CORP [000236] (A Japanese Company or

Corporation), JP (Japan)

APPL. NO.: 62-214476 [JP 87214476] FILED: August 28, 1987 (19870828)

INTL CLASS: [4] H04N-001/04; H04N-001/028

JAPIO CLASS: 44.7 (COMMUNICATION -- Facsimile)

JOURNAL: Section: E, Section No. 775, Vol. 13, No. 268, Pg. 66, June

20, 1989 (19890620)

### **ABSTRACT**

PURPOSE: To attain a low cost by collecting a light from a tubular light source having a prescribed opening on an original with an elliptic cylindrical reflecting mirror so as to attain effective utilization of the light source and to miniaturize the reader and to omit cooling components or the like for the light source.

CONSTITUTION: The tubular light source 1 composed of a cold cathode discharge tube sealed with a rare gas such as xenon has a prescribed opening 2, a radiated light radiated with a prescribed aperture angle from the opening 2 of the tubular light source 1 is radiated to an elliptic cylindrical reflecting mirror 3 whose cross sectional shape is a part of an ellipse and prolonged cylindrically, the reflected light by the reflecting mirror transmits through an original platen glass 4 and radiates a prescribed part of the original 5 having picture information such as characters or a picture, and the reflected light from the original 5 onto the picture information of the original 5 is collected to the light receiving section 8 of an image sensor 7 by a fiber lens array 6 as a real unmagnification picture and picture information by one line is obtained by photoelectric conversion.

### ⑩日本国特許庁(JP)

⑪特許出願公開

## ⑫公開特許公報(A)

昭64-58165

⑤Int Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

❸公開 昭和64年(1989)3月6日

H 04 N 1/1

1/04 1/028 1 0 2 7037-5C Z-7334-5C

iC iC

審査請求 未請求 発明の数 1 (全4頁)

公発明の名称

画像読取装置

**纽出** 願 昭62(1987)8月28日

四発 明 者 古 賀

欣 郎

長野県諏訪市大和3丁目3番5号 セイコーエプソン株式

会社内

⑪出 願 人 セイコーエプソン株式

東京都新宿区西新宿2丁目4番1号

会社

邳代 理 人 弁理士 最 上 務 外1名

明 細 曹

1. 発明の名称 簡優狭取装置

2. 特許前求の範囲

4)前記亞状光原は前記術円筒状反射線の第1の

無点(魚線)近傍に配置されることを特徴とする 特許請求の範囲第 1 項記録の選像挑取装置。

5)前記符円商状反射競は第2の焦点(焦稼)が 前記原稿の近份に位置するように配設されること を特徴とする特許請求の範囲第1項記載の画像統 取装置。

8)前記管状光部の前記期口部は関口角が90度以下であることを特徴とする特許請求の範囲第1 項記録の画像説取装置。

7)前記イメーツセンサは前記原稿に対して等倍で値保備程を挟み取ることを特徴とする特許請求の範囲第1項記載の画像疑取装置。

3. 発明の詳細な説明

(祖業上の利用分野)

本発明は管状光原を有する画像拡取装置の光学系の構成に関する。

(従来の技術)

従来の確保施取装置では、管状光源に関ロ邸を設けて原稿面を照射したり、複数の管状光概を開

# BEST AVAILABLE COPY

時に点灯し原稿面を照射したり、熱陰極管等の高 輝度の光母で原稿面を照射して、原稿面からの反 射光をイメージセンサに集光し光母変換して画像 情報を読み取っていた。

(発明が解決しようとする問題点)

(岡図点を解決するための手段)

しかし、前述の従来技術では、複数の管状光板を使用すると装置が大型化するだけでなく光板に要するコストが膨大なものになってしまい、高輝度の光板である熱路板管やハロゲン管を使用すると発熱が大きく冷却手段を必要とするだけでなく周囲造成の影響で輝度が大きく変化してしまうという問題点を有する。

そこで本発明はこのような問題点を解決するもので、その目的とするところは、キセノン等落気圧の温度変化の小さい冷陰極管を用いても熱陰極管に匹敵する光量を得る光学系を構成し、高解像のイメージセンサを使用しても従来以上の高速説み取りを可能にしかつ小型で低コストで高信頼性の画像読取装置を提供するところにある。

本発明の画像装取装配は、管状光気は所定の関口部を行し、同口部からの出射光を楕円形断面の楕円筒状反射鍵に设射し、楕円筒状反射線の反射光を原稿に照射することを特徴とする。

(灾施例)

(作用)

第1図は本発明の実施例における画像鉄取装置の姿部断面図であって、キセノン等の希ガスを封止した冷陰極放電管等で構成される管状光顔1は所定の関ロ部2を有し管状光顔1の関ロ部2から

所定の関口角で出射された出射光は、断面形状が **楕円の一部であり筒状に延長された楕円筒状反射** 2003 に照射され、楕円筒状反射線3 による反射光 は、原稿材配ガラス4を透過して文字や画像等の 画像情報を有する原稿5の所定の部分(管状光顔 1の中心線と略平行な中心線を有する矩形部分) を照射し、原稿5の画像情報に準じた原稿5の反 射光は、ファイパーレンズアレー8によりイメー ジャンサフの受光部8に等倍の実位として築光さ れ光電変換して、1ライン分の画像情報が得られ る。 郊 1 図 中、 イメージセンナフは 位 体 9 に 配 位 され、世体9には楕円筒状反射線3を同一材料で 形成しており、押し出し成形等により得られる。 また、イメージセンサ7が1ライン分の画像情報 を热み取る毎に、イメージセンサフと原稿5とは 相対移動を扱り返して、原稿5の所定の面の画像 情報が得られる。

第2図は本発明の他の実施例における画像統取 装置の要部断面図であって、第1図と共通な部分 には第1図と同じ番号を付けて、説明を省略する が、将円筒状反射錠3は板状の錠面材10上に形成され、板状の錠面材10は位体9に固定され、また、四体9には質状光顔1の点灯回路11が配股される。第2図における板状の錠面材10をアルミニウムや鍋等の高導電率材料とすることにより、点灯回路111及び管状光板1から放出される高地圧高周波駆動に起因するノイズがイメーツセンサ7に混入しないように電磁シールドすることができる。

べき原稿面を配置すれば、光顔の出射光は最も効 泉的に使用されることになる。

| ガ 4 図は本 発 明 の 更 に 他 の 実 施 例 を 示 ナ 画 像 統 取装置の要邸断面図であって、管状光飙1の中心 郎に、年報が存在すると近似できるような光草で は、間口部2の中心角である関口角を80度以下 にすることにより、楕円筒状反射線3の反射光が 笠状光顔 1 或いはファイバーレンズアレー 8 と干 渉することなく配置して光顔からの出射光を有効 に原稿上に災光でき、また、光顔からの出射光が 直接ファイバーレンズアレーに入射し画像情報を 劣化させることもない。なお、第1図の例のよう に安秋光斌1の管壁に輝線が存在すると近似でき るような光顔では閉口部2の中心角に対して出射 光の頂角は半分であるから、中心角と開口角を等 しいものとすれば関口角は180度以下であれば 光斑からの出射光を有効に原稿上に集光すること ができる。

従って、第1図から第4図に示される構成は、 密替型イメーシセンサと称される如きファイバー

> 3の面に形成するこ 密律型のイメージセンサと組み合わせることに 反射鎖の角皮調整工 より、小型かつ薄型の画像読取装置で、しかも高

将円筒状反射線を包体の一部の面に形成することにより部品点数の削減及び反射線の角度調整工程を省略することができる。

将円筒状反射鏡を遊電性の材料で形成することによりイメージセンサを光顔や光顔の点灯回路からシールドすることができ画像袋取袋屋の信号品質が向上する。

管状光線を、楕円筒状反射鏡の第100線点(線 切り近傍に配置することにより、光線からの 射光を、第20線点(線線)に銀光することができ、光線を最ら有効に利用し、コストパフォーマンスの高い光学系が得られ、さらに、第20線は の近傍に原稿の読み取るべき部分が引 ように楕円筒状反射鏡を配置することにより はまからの反射光鏡が増し はまからの反射光鏡が増し ように作円になる。

で状光球の関口部関口角を 8 0 度以下にすることにより、光射からの出射光が他の部分と干渉することなく原稿面へ集光され、光斑の有効利用と同時に読み取りの高速高解像化が可能である。

以上述べたように本発明によれば以下のような 効果を有する。

所定の関口部を有するで状光率を楕円向状反射役で原稿上に集光することにより、光感の有効利用ができるだけでなく、設置の小型化や光感の冷却の品等を省略して低コスト化が可能になり、さらに単位時間当りの原稿照射光量が増すことから走去時間を短格し受光部面積を小さく高密度にして高速高解像の画像铣取設置が可能になった。

4. 図面の簡単な説明

速高解像が得られる。

第1 図は本発明の一実施例を示す画像競取装置の要部断面図。

第2図は本発明の他の実施例を示す画像読取装置の要部断面図。

第3図は本発明の楕円鏡の原理図。

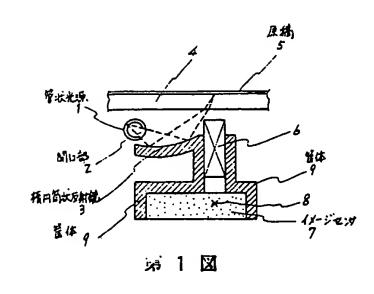
第 4 図は本発明の更に他の実施例を示す画像 be 取装置の要部断面図。

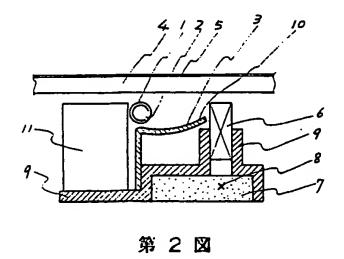
- 1 … 管状光醇
- 2 … 岡口部
- 3 … 桁円筒状反射缝
- 5 …原稿
- 7 … イメーシセンサ
- 9 … 位体

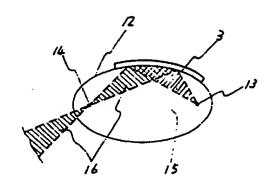
以上

出願人 セイコーエブソン株式会社

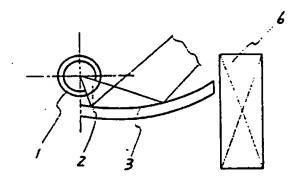
# BEST AVAILABLE COPY







第 3 図



第 4 図